（別紙３　様式第20号）

記載例

令和６年度　モニタリング結果報告書

地域環境保全タイプ（里山林保全）、地域環境保全タイプ（竹林整備）、

森林資源利用タイプ をR2年度から実施した場合

１　活動の目標

|  |
| --- |
| 1. 地域環境保全－里山林保全   除伐により高木を育成し、見通しの良い里山林にする。  本数を8本程度伐採し、相対間距比を17以上に改善する。   1. 地域環境保全－竹林整備   荒廃竹林を、タケノコが利用できる竹林にする。  竹密度をおおよそ3,000本／haに保つ。   1. 森林資源利用   搬出間伐により、地域の資源を継続的に生産・利用する。  対象森林面積：2.0ha 対象森林全体の利用可能木材資源量：2,280㎥  年間利用目標量：2,280㎥×0.35÷3年間≒250㎥  市町村森林整備計画の材積に係る間伐率35％以下より |

２　活動実施前の標準地の状況（令和４年度）　　　　　　　　　　写真

立木幹材積表より

対象森林全体の利用可能な木材資源量

0.57㎥/本×20本×100＝1,140㎥/ha

1,140㎥×2.0ha=2,280㎥

里山林保全

調査地の写真

竹林整備

調査地の写真

森林資源利用

調査地の写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 | 調査日：R4.7.13  ①地域環境保全－里山林保全  樹高：13m　本数：28本  相対間距比：14.5  ②地域環境保全－竹林整備  ﾓｳｿｳﾁｸ　5,000本／ha  ③森林資源利用  樹高：18m 胸高直径：30㎝  本数：20本 樹種：スギ |

３　活動計画１年目の標準地の状況（令和４年度）　　　　　　　　　　写真

※初回と同じ場所で撮影する

森林資源利用

調査地の写真

竹林整備

調査地の写真

里山林保全

調査地の写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 | 調査日：R5.2.20  ①地域環境保全－里山林保全  本数：24本 相対間距比：15.7  ②地域環境保全－竹林整備  ﾓｳｿｳﾁｸ　4,200本／ha   1. 森林資源利用   搬出材積量　200㎥ |
| 目標達成度 | 1. 50％　②40%　③80% |
| 次年度に向けた改善策 | 積雪で作業期間が短くなってしまったため、次年度は冬までに計画的に整備を行う。 |

４　活動計画２年目の標準地の状況（令和５年度）　　　　　　　　　　写真

※初回と同じ場所で撮影する

森林資源利用

調査地の写真

竹林整備

調査地の写真

里山林保全

調査地の写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 | 調査日：R6.2.15  ①地域環境保全－里山林保全  本数：22本 相対間距比：16.4  ②地域環境保全－竹林整備  ﾓｳｿｳﾁｸ　3,500本／ha   1. 森林資源利用   搬出材積量：225㎥ |
| 目標達成度 | 1. 75％　②75%　③90% |
| 次年度に向けた改善策 | 目標達成までの数量を意識して効率的に活動を行う。 |

５　活動計画３年目の標準地の状況（令和６年度）　　　　　　　　　　写真

※初回と同じ場所で撮影する

森林資源利用

調査地の写真

竹林整備

調査地の写真

里山林保全

調査地の写真

|  |  |
| --- | --- |
| 標準地の状況を記載 | 調査日：R7.1.15   1. 地域環境保全－里山林保全   本数：20本 相対間距比：17.2  ②地域環境保全－竹林整備  ﾓｳｿｳﾁｸ　3,000本／ha   1. 森林資源利用   搬出材積量：250㎥ |
| 目標達成度 | 1. 100％ ②100% ③100% |

（注）目標の設定及び標準地の状況の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。